

平成 2 6 年

亀山市教育委員会 1 2 月定例会会議録

## 亀山市教育委員会 12月定例会会議録

### 1. 日 時

平成26年12月18日（木）13時30分開会

### 2. 場 所

亀山市役所3階 理事者控室

### 3. 出席委員

1番委員	岡 田 香
2番委員	肥 田 岩 男
3番委員	井 上 恭 司
4番委員	伊 藤 ふじ子
5番委員	大 萱 宗 靖

### 4. 欠席委員

なし

### 5. 議事参与者

教育次長	佐久間 利 夫
教育総務室長（以下総務室長という。）	原 田 和 伸
学校教育室長（以下学校室長という。）	服 部 裕
教育研究室長（以下研究室長という。）	西 秀 人
生涯学習室長（以下生涯室長という。）	亀 山 隆
図書館長	久 野 友 彦
歴史博物館長（以下歴博館長という。）	小 林 秀 樹
まちなみ文化財室員（以下まち室員という。）	中 道 英 人
教育総務室主幹（書記）	木 崎 保 光
教育総務室主査（書記）	水 野 英 樹

## 6. 会議録署名者指名

3番委員（井上恭司委員）

## 7. 前回会議録の承認（第10回、11回、12回臨時会）

承認

## 8. 教育長報告

教育長 教育長報告の主なものを「平成26年12月定例会教育長報告」に基づき報告。

11月28日、井田川小学校人権教育研究推進事業指定校発表があった。県の委託を受けていたもので、井田川小学校で公開授業及び研修会が行われ、成果を聞かせていただいた。

29日、青少年育成市民会議の家庭部会が開催した明るい家庭の作文発表会があった。内容は、「明るい家庭」についての作文と読書感想画の表彰式、安藤塾の塾長の講演であった。

12月6日、第10回ヒューマンフェスタ in 亀山が関文化交流センターで開催された。午後は、社会を明るくする運動の表彰式があいあいで開催され、県知事、県教育長表彰があった。応募した子どもたちの作品は素晴らしく、全国審査を受けているものもある。

7日、ボーイスカウト第4団の40周年式典があった。これまでの活動報告を受けた。

9日から市議会の議案質疑、一般質問があり、教育委員会制度や土曜授業、遠距離通学等について質問があった。

13日、関宿の重伝建選定30周年記念シンポジウムが文化会館で開催された。

14日、エフテックを会場に第8回親子交通安全教室が開催された。第7回までは鈴鹿市で行われており、今回初めて亀山市での開催となった。幼稚園児もたくさん参加していた。非常に興味深い内容で、保護者も熱心に参加していた。

（質問はなく、教育長報告を終わる。）

## 9. 議事

委員長 議案第46号「亀山市立幼稚園保育料減免に関する規則の一部改正について」を上程し、事務局の説明を求める。

教育次長 (提案理由説明)  
(総務室長詳細説明)  
(質問はなく、議案第46号は可決される。)

委員長 議案第47号「亀山市私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の一部改正について」を上程し、事務局の説明を求める。

教育次長 (提案理由説明)  
(総務室長詳細説明)  
(質問はなく、議案第47号は可決される。)

委員長 議案第48号「亀山市放課後子どもプラン運営委員会要綱の一部改正について」を上程し、事務局の説明を求める。

教育次長 (提案理由説明)  
(生涯室長詳細説明)  
(質問はなく、議案第48号は可決される。)

委員長 議案第49号「亀山市給食食材費の価格変更について」を上程し、事務局の説明を求める。

教育次長 (提案理由説明)  
(学校室長詳細説明)

大萱委員 平成27年度からの新価格について、食材の値上げが9.33%と消費税のプラス3%分で12.33%増となるが、それぞれ上げ幅がバラバラである。関幼稚園は16%、デリバリーが4%、小学校、中学校は10%程度である。デリバリーの値上げが低くないのか。また、「本市の学校給食の配慮について」に地産地消のことが含まれていないが、そういう面を取り入れた方が良いのではないか。

学校室長 値上げ率は、小・中・デリバリー・幼稚園で統一していません。自校・センター方式とデリバリー方式では、値上げ率が異なります。デリバリー方式については、センター方式と同様の値上げ率にすると、1食270円から280円となります。事務局としては、そういう選択肢も考えましたが、センター方式の関中学校の1食とデリバリー方式の1食との均衡を保つことを優先し、デリバリー方式を260円で提案しております。幼稚園について

は、合併後、本来値上げが行われても良かった時期に据え置いているため、値上げ率としては高くなっています。今回、給食検討委員会でそのあたりを総合的に勘案して、幼稚園は値上げ率が高くなりますが、この値上げ率が妥当であろうという結論が出ています。かつ、保育園の給食単価と整合を図る意味で3,600円に設定しました。物価上昇と消費税増税を勘案して、できる限りこれまでの献立を維持継続していこうとすれば、デリバリー方式だけ若干維持が難しくなる値段となっています。本日の委員会の審議で意見書を尊重すべきとなれば、260円にこだわることはありません。また、地産地消は、市内産については、天候や生産者の影響を受けるため、容易に使用率を上げることは困難です。県内産については、全食材に占める割合が平成22年度は13.8%で、平成25年度は17.8%と上昇しています。国内産まで広げると平成25年度は50.6%という数値が出ています。かめやまっ子給食に限定して調べると、平成22年度の県内産は57.8%、平成25年度は60.6%と僅かながら上昇しています。継続して地産地消の推進に努めたいと考えていますが、明確な数値目標を据えることが難しい状況をご理解願います。

大萱委員 具体的な数値までは求めないが、推進はしていった方が良いと思う。デリバリーは1食の値段×年間回数と中学校の給食費×12ヶ月と同じになるのか。

学校室長 関中学校の単価に合わせることを優先すると260円に近い数字になります。

大萱委員 給食実施回数が年186回×260円がイコール4,800円×12ヶ月になるのかを聞きたい。

学校室長 給食費は、夏休みの8月を除き11ヶ月間徴収します。簡単に計算できるものではありませんが、デリバリー方式はこの値段に加え、1食45円の牛乳代が必要となります。中学校の給食費は、牛乳代を含めた値段となっています。

大萱委員 関中学校と同じ値段になるということか。

学校室長 デリバリー方式の値段を牛乳代込みで計算するには、45円を加算していただく必要がありますが、関中と牛乳を飲む回数が異なります。また、関中は4,800円×11ヶ月÷186回で1食あたり283.8円となります。関中学校と合わせることを優

先するのか、デリバリー方式の献立の維持継続を優先するのかを決めていただく必要があります。給食検討委員会の意見書では270円から280円となっています。意見書と異なる額で提案していますのでご協議いただきたいと思います。

委員長

なぜ意見書と異なる価格を提案してきたのか。

学校室長

260円か270円かは事務局としては、非常に悩ましく判断に苦しみました。関中学校との均衡を考えなければ、270円になり、デリバリーが10円高くなります。今月16日の教育民生委員会で、ほぼ同じ資料を提出しています。値上げ幅について意見はなく、値上げはやむを得ないという意見でした。むしろ、現在の苦しい事情をご理解いただきました。値上げ幅について、意見はいただいていません。是非とも、この場で決定していただきたいと思います。特にデリバリーについては、事務局としても悩んでいます。加えて補足になりますが、本日、全国放送で大阪や東京の渋谷の給食は満足できるものではないが、温かいものを温かく提供しているということで、全国の中で亀山市のデリバリー給食だけが望ましい事例として取り上げられました。デリバリー方式は、桑名市、四日市市は亀山市と同じ業者を利用しています。名張市からは導入に向けて、視察したいとの依頼をもらっています。デリバリー導入当初には、海外での食材の偽装など食に関するマイナスの報道がたくさんなされていました。亀山市のデリバリーの食材においては、中国産は使用していません。そこは桑名市や四日市市と異なります。その上で、桑名市の最新の情報では同じ幅の値上げを検討しているということです。

委員長

中国産は使っていないのか。

学校室長

調味料など粉末状のものは、ごく一部に中国産が含まれている可能性があり、ゼロとは言い切れません。

委員長

桑名市、四日市市の値段はどうなっているのか。

学校室長

桑名市は喫食率が70%台で現在250円です。4月から値上げの方向で検討しているとのことで、牛乳代込みですが、280円から290円を予定しているとのことです。最終決定はどうか分かりません。四日市市は、現在300円です。亀山市は、牛乳代抜きで250円、牛乳代を入れると275円となります。仮に20円値上げをしても295円になるので、四日市市よりも

安価になります。ちなみに、四日市市の喫食率は10%から20%程度です。

大萱委員  
学校室長

デリバリーの場合、牛乳は頼まなくても良いのか。

牛乳は、三重県学校給食会を通じて、全ての小中学校で提供しています。牛乳のカロリー・栄養を含んで献立を考えています。牛乳は、相当なる栄養・カロリーを確保できるため、牛乳のない給食は、全国的に少ないです。新聞に出ていましたが、新潟県内の市で、牛乳抜き給食を実施しているところはあるそうです。献立を組むときに、栄養・カロリーのバランスを考えると、牛乳を抜くことは難しいのが現状です。

大萱委員  
学校室長  
大萱委員  
学校室長

1食250円は牛乳代を含んでいるのか。

含んでいません。

なぜ含まないのか。

弁当持参の子どもも牛乳は飲むため、牛乳代は別途徴収しています。牛乳代は、原則全員から徴収します。デリバリーは頼んだ生徒だけ徴収します。対象者が異なるということです。

大萱委員  
学校室長  
岡田委員

牛乳を無くすと、牛乳に代わる栄養価のものを提供しなければならないということか。

そういうことです。

牛乳のカルシウムは、体に吸収しにくいというデータがある。また、日本人には牛乳を分解する酵素を持っていない人もたくさんいる。よって、牛乳の有効性は疑わしいという声がある。新潟県の三条市では、米に牛乳は如何かということで、米所として全国に先駆けて取り組んでいるものである。三重県は、ひじきなど海産物でカルシウムを摂取することが可能であり、取組の一つとして検討してはどうかと提案させていただく。

委員長  
井上委員

ご飯に牛乳というのは如何かと思わないこともない。

提出された意見書に基づいてまとめられたということなので尊重せざるを得ないと思う。事務局は、裏付ける資料を丁寧にまとめていただいたと思うが、疑問や意見を伝える。消費税が3%から5%に上がった時に値上げをしています、その消費税が8%に上がったので、若干のタイムラグはあるが値上げをすることになる、物価上昇も踏まえているという話は、分かりやすい。消費税も物価も上がった、よって給食費を自動的に上げるということに

なるかもしれない。今の価格ではやっていけないというのは、非常に分かりやすい。しかし、保護者負担も考慮すべきだと思う。今回の提案において、値上げをしない自治体に学ぶことは無かったのかと思う。例えば、資料でいなべ市は、亀山市とほぼ同じ規模の自治体であるが、中学校のセンター方式は月額100円安い。平成26年度4月からの値上げもしていない。また、今後の値上げ予定もない。今後の方針変更はあり得ると思うが、消費税が8%になったときに上げなかった。伊勢市は、平成26年度からは上げていない。平成27年度は上げるが、上げ幅が100円である。こういった自治体に学ぶことは無いのか。質を下げてここに踏みとどまっているのか分からないが、そこに学ぶことは無かったのか。言い方を変えると、この道しかなかったのかという疑問を持つ。例えば、安心・安全を担保しながらが大前提になるが、地産地消、県内産、国内産にこだわらない、そうすれば上げ幅を若干でも抑えることは可能なのではないか。地産地消は、検討委員会でも安定供給の面からもリスクがあり価格が高いと言っている。地産地消を止めれば、その分だけは1円か2円か分からないが下がるのではないか。地産地消が農業振興と結びついているのであれば、その団体に補助を出して、バックしてもらうこともあり得る。そういった工夫や知恵が、検討委員会でなされていないのではないか。購入の仕方を見直したり、学校給食会から購入するのを止め、他から購入すれば安くなる可能性があるかもしれない。納入業者に協力を求めることもあり得るかもしれない。そういった工夫の跡があまり見えないように思う。値上げありき、県下トップとなります。先陣を切ってやっていきます。価格に値する中身で亀山市はやっていきますと胸を張って言えるのかもしれないが、保護者負担増に対する配慮が薄いのではないか。子どもが関幼、関小、関中に1人ずつ在籍していれば、11,500円から今度は12,800円と11%アップになる。家計に響くと思うが、なぜ、このあたりが話題になっていないのか。教育民生委員会でもこのあたりの議論がない。デリバリーは他市との比較がある。桑名市から運んでいるので、桑名市より高くなって当たり前ではないか。幼稚園については、保育園との並びで考えたときにと、よく言われるが同じ5歳児で3,100円と3,600円がいた



ということか。幼稚園児と保育園児で給食の質や量に違いがあるのか。3, 100円の支払で済んでいる幼稚園に対して、市が公的な補助をしていたのかどうか。

学校室長

地産地消ですが、検討委員会でも地産地消の状況は話をしています。価格だけを検討するとき、どれだけご意見が出たかは別として、1回目から亀山市の給食の状況を認識いただくに当たって、詳細を説明させていただいています。その中で、現在、教育委員会と農政室、生産者、食材を調達する流通業者による会議を開催しています。そういった中で亀山市の生産者のご年齢や人数、加えて生産者が直接学校に納入すれば、流通業者である八百屋から仕入れていた分が無くなることとなります。この関係者でベターであろうという方法や回数まで協議し、今に至っています。1年ごとに5%ずつ上げるというような目標は立てにくい状況です。生産者の数や年齢の話もあり、地産地消で実効性のある方策は見出せていないのが実情です。よって、地産地消をもっと進めたくても進められる状況ではないということです。給食会からの仕入れを一般仕入れに変えるということですが、検討委員会の副委員長は、専門学校等を経営されている理事長ですが、醤油や塩などの調味料は、安価であれば良いというものではない、安価を求めたことによって、とんでもない給食になったという経験がある、よって、調味料にはこだわっている、野菜の値段や肉の値段を言われるが、調味料を軽く見てはいけないという意見を述べられています。それらの安全性を含めて管理しているのが学校給食会であり、学校給食会推薦のものしか使っていません。安さを求めて一般仕入れに変える、学校給食会を抜けることは考えにくい状況です。また、保護者負担を考えているかということですが、就学援助や生活保護を受けている家庭は、給食費を全額市が補助しています。そういったことを踏まえて、PTAから代表2名、市民公募から3名の委員がおり、市民公募の委員も子育て中の方ばかりとなっています。これらの委員も、これだけの理由があれば値上げ止む無しと言っており、消費税や物価が原因と言葉で言ったとき、理解していただける方は過半数いるかもしれないが、価格を上げることに反対する人は当然出てくる、そういった方に少しでも目に見える形で情報発信をして、保護者周知のときに分かり

易い資料を必ず盛り込むことで理解していただくしかないとの値上げに対するご意見をいただいています。決して、保護者の負担を軽視しているわけではありません。加えて、他市に学ぶものがないかということですが、亀山市はご飯を週に4回、パンを週に1回提供しています。週に4回もご飯を出している市は大変珍しいと思います。パンを2回出している市が大半です。ご飯とパンでは、1食あたり8.29円値段が異なります。

井上委員  
学校室長

そこまで説明されたのであれば、反対論は出てこない。

おかずを2品にしている市町も見受けられる中、亀山市の小中学校は3品にこだわっています。

井上委員

保護者負担の話をする、生活保護を受けている家庭や就学援助を受けている家庭は全額補助という話になるが、そうでない家庭でも貧しい家庭はある。

学校室長

値上げは、食材の物価上昇が9.33%であり、小学校の給食費であれば、月額343円の増、消費増税分が115円で合わせると458円の値上がりになりますが、400円の値上げにしています。中学校は合計502円値上がりしていますが、上げ幅を400円にするということで、最大限抑制しています。

井上委員

この方法しかないのかと、あえて給食費はこの幅で値上げするしかないのかと、もっと他に知恵や工夫はないのか。地産地消を止めても良いのではないか、外国産を入れても良いのではないか、そういうことでの工夫や知恵が余り議論されてこなかった意見書に基づく提案なのかという疑問があるということである。

学校室長

検討委員会では、そのあたりについてしっかり検討いただいています。検討した上での意見書であることはご理解いただきたいと思えます。

大萱委員

ご飯が週4回、パンが週1回ということであるが、昔はパンばかりであったため、牛乳は合ったが、ご飯ばかりに牛乳は合わないのではないかと。今すぐにではないが、検討委員会で検討し、これだけご飯が多いのであれば、栄養価の話もあるものの、子どもたちが牛乳を嫌いにならないよう検討してはどうか。

学校室長

すべての子どもが牛乳を飲んでおり、喜んで飲んでいるくらいです。亀山市の学校給食はおいしいと大抵の子供が言っている状況です。

井上委員 所得が増えない人が多い中、安易に値上げは如何なものか。幼稚園の保育料も値上げを検討されているようであり、給食費は上がる、保育料は上がるとは、何と冷たい世の中、冷たい社会なのか。一生懸命働いている人に冷たすぎるのではないか。給食費が10%も値上がりする。もう少し配慮する姿勢・意見が欲しかったと思う。

学校室長 今の社会では、物価が確実に上がっています。給食費だけ値上げしなければ、今後やれるだけやったとしても、粗食化していきます。質や献立を保証せずに値上げしないのであれば、それは可能です。ただ、物価が上昇しており、消費税も10%に上がっていきませんが、今回給食費を値上げすれば、当面、短期間での値上げは考えにくくなります。消費税が10%になるときも見据え、どうすべきかということです。

岡田委員 亀山市はご飯給食が多く、自校方式を続けているだけでも良いと思う。他市を視察するとセンター方式が多い。自校方式を続けているだけでも素晴らしい。値上げはやむを得ないと思う。ただ、保護者の負担は重くない方が良いが、自校方式を続けるためには保護者負担も求めなければ難しいと思う。

(5分休憩)

教育次長 デリバリーについて、検討委員会の意見書にあった20～30円の値上げを、関中学校との均衡を考慮し10円の値上げに抑えた提案となっていますが、1食260円ではなく、270円ということも考えられます。室長が説明したように、教育民生委員会へ資料として既に示しており、値上げ幅について特に反対の意見がなかったのは事実ですが、この金額で了解されたかどうかまでは分かりません。ただ、資料を提出したことは事実としてあります。検討委員会は、来年度まで行われ、今後は、給食の提供方式についても検討します。センター方式よりデリバリー方式の単価が上がると、横並びの検討がしにくくなることもあり、協議が必要かと思えます。

委員長 議会に示してあるから、原案でということか。

学校室長 教育民生委員会では、12月の定例教育委員会で価格を含め、最終決定いただくと説明しています。本日の案は事務局の案です。価格については、この案のとおりになるとは限らないと説明して

います。事務局としては、意見書の「センター方式とデリバリー方式の食材費について、できる限り差が出ないよう留意願います。」を重視し、今回の提案となっています。

井上委員 教育委員会としては意見書を尊重します。それぞれの値上げ幅を、意見書に示された範囲内で収めておきたい。ただし、保護者負担を踏まえ、今後努力を積み重ねていくということでしょうか。

委員長 意見書を尊重し、値上げ幅をそれぞれの下限值に決定する。ただし、幼稚園については、前回値上げを見送っていることから中間値を採用する。よって、原案に対して、デリバリーについては10円アップの270円とする。ということよろしいでしょうか。

全委員 異議なし

井上委員 亀山市の優れた給食の現状維持に懸命に努めるよう厳しい注文が出たことは忘れないように。値上げをしたが、質が落ちたのでは意味がない。あと、意見書では二つのことについて、意見が出されている。食物アレルギー対策と食材費の値上げについてである。食材費の値上げは資料が出てきたが、一つ目の食物アレルギー対策について、検討中と思われるが、今回のように見解が示されるのか。

学校室長 次回の委員会でお示しできると思います。  
(ほかに質問はなく、議案第49号は可決される。)

## 10. 報告事項

委員長 報告事項1「平成27年度亀山市立幼稚園入園児の応募状況について」説明を求める。

(総務室長説明)

大萱委員 幼稚園児は4歳児になると定員が35名となる。今の3歳児が4歳児になるときに10名の募集となる。その際、今回抽選に漏れた子は優先的に入園できるのか。

総務室長 優先的に入園することはありません。改めて募集しますので、募集人数以上に応募があれば抽選となります。

大萱委員 そうすると2年連続外れる場合もあるのか。

総務室長 ここ数年、応募人数が募集人数内であり、抽選になったことは

ありません。

大萱委員  
総務室長 平成27年度中に欠員が出れば、途中入園できるということか。  
そういうことです。

(ほかに意見はなく、報告を終わる。)

委員長 報告事項2「亀山市学校給食検討委員会委員の任命について」  
説明を求める。

(学校室長説明)

委員長  
学校室長 所属が農政室から都市計画室に変わっているが、なぜか。  
所属は関係なく、職員の代表という区分で選出されているもの  
です。

(ほかに意見はなく、報告を終わる。)

委員長 報告事項3「図書館利用状況について」説明を求める。

(図書館長説明)

(意見はなく、報告を終わる。)

委員長 報告事項4「工事及び委託事業の発注状況について」説明を求  
める。

(総務室長、まち室員説明)

(意見はなく、報告を終わる。)

委員長 報告事項5「教育委員会行事報告及び予定表について」説明を  
求める。

(総務室長、学校室長、研究室長、生涯室長、図書館長、まち  
室員、歴博館長から説明)

(意見はなく、報告を終わる。)

## 1 1. その他

研究室長 平成26年度優れた「地域による学校支援活動」推進にかかる  
文部科学大臣表彰という資料を配布しています。これは、文部科  
学省が放課後子ども教室やコミュニティスクールなど地域の方々  
による学校支援活動に対して、平成23年度から表彰をしている  
もので、本年度加太小学校つむぎ学校運営協議会が県教育委員会  
の推薦を受け、表彰を受けたものです。12月8日に表彰があり、  
学校運営協議会の会長、学校、教育研究室から3名が出席しまし  
た。

井上委員 質問や意見や要望を5点お伝えしたい。1点目は教育予算につ

いて、今回の議会で遊具の修繕やエアコンの設置など様々な質問・意見が出ていた。施設設備に関する質問については、苦しい答弁であったと思うが、苦しい財政状況とよく言われ、事実そうであると思う。今後、教育委員会として予算確保に尽力いただきたい。亀山西小で校長をしていたときに改築がなされた。地域や学校にとっての悲願であった。川崎小学校で校長をしていたときも安全で清潔な環境を整備するため、教育総務室から随分支援をしていただいた。予算が目に見える形で、実現すると、学校は教育委員会に対して感謝する。是非とも予算獲得の努力をしていただきたい。2点目は、教育大綱・総合教育会議についてである。大綱が策定される時期や目処はどうなっているのか。首長が交代する度に策定し直す、改訂することになっているのか。これまで亀山市は色々な計画をまとめている。亀山市学校教育ビジョン、亀山市生涯学習計画、文化振興ビジョンなどたくさんの計画がある。それらと大綱の関係はどのようなになるのか。総合教育会議の構成はどうなり、事務局はどこが担当するのか。特に気になるのが、テーマの設定がどうなるのかである。3点目はザ・点検である。今後のスケジュールが明らかになってきている。点検の結果が広報でも紹介されていた。改善策はまとめられたのか。いつ示していただけるのか。ザ・点検は、本部会議があるようだが、本部会議はどれ程の権限を持っているのか。4点目は福祉部局との関係・連携である。議会でも学童保育所、認定子ども園について質問されていたが、答弁はほとんど子ども総合センター長だった。学童保育所に通っている児童は小学生で、学校教育を受けている子である。認定子ども園の園児は、学校教育を受ける子どもたちである。担当は福祉部局になるのかもしれないが、教育委員会との情報共有があまりなされていないのか、今まで学童保育所が増えるというような情報提供は受けていない。最後に学校現場、幼稚園現場で色々なことが起こっている。起こっていることや現場の声で重要なものについて報告いただけるとありがたい。例えば学力向上や主幹教諭・指導教諭の件など、情報提供していただくとありがたい。

教育長

概略を説明させていただく。教育予算については、財務部局と交渉し対応しているところである。ただし、市の財政は厳しい状

況にあることはご理解いただきたい。教育大綱については、この後の教育委員会協議会で詳しく説明させていただく。現時点で具体的な結論は出ていない。この教育委員会の中で審議いただくことも多々あると考えている。12月議会が終わった後、準備を進めたいと考えている。ザ・点検は以前申し上げたとおり、現在、一部の改善策について決裁が上がってきている段階である。1月の経営会議の後に、行革の会議がある。そこで集約されたものが出てくるので、その後、教育委員会に報告させていただく。

井上委員  
教育長

改善策は、案の段階で教育委員会に出てこないのか。

例えば、生涯学習室の担当事業は、このように改善していくという案について決裁している段階である。この進め方については、教育委員会の施策をこの仕分けに掛ける必要があるのかも含めて意見を出させていただく。健康福祉部との協議については、認定こども園のことについても、勉強会などは日常的にやっている。12月議会の答弁については、特に教育委員会が答弁する内容ではないと判断し、直接の担当である子ども総合センターが行った。連携はしつつ、認定こども園については協議を行い、今後、幼稚園をどうしていくかについて、教育委員の皆さんに議論していただく場を設けたい。現場の声であるが、1件途中経過を報告させていただくことがあるので、担当室長から説明させていただく。

学校室長

教職員に関わって、主幹教諭・指導教諭という新たな職が作られることとなりました。来年度4月1日から配置されます。それを前提に任用選考が始まっています。主幹教諭については、来年度県内で15名配置すると聞いています。よって、亀山市に1名回ってくるかどうかと言うところです。指導教諭については、県内で35名になり、亀山市に1、2名が回ってくると見込んでいます。

井上委員  
学校室長

主幹教諭・指導教諭は人員増となるのか。

定数に含まれます。指導教諭は担任もできます。しかし、指導教諭のメインは、教員の指導力向上という任務であり、授業を見せる、参観してアドバイスすることが中心となります。主幹教諭は管理職の補助としての役目があります。管理職ではありませんが、校長、教頭に次ぐ学校運営にかかわるリーダーとなります。教諭の中のリーダーです。

研究室長 生徒指導の関係ですが、9月以降、学力向上の計画を立てながら、同時に状況をしっかり捉えていかなければならないと考えています。

委員長 1月の定例会は22日（木）13時30分からとする。

## 12. 閉会

16時30分

以上会議の顛末を記録し、下記のとおり署名する。

委員長

3番委員

教育長